

平成28年度 一般会計予算

# 198億3400万円

予算審査特別委員会で5日間集中審査し、委員間討議を行い、可決しました。

3月議会では平成28年度予算案を含む31件の議案審査を行いました。平成28年度予算案は昨年度より5400万円少ない198億3400万円でしたが、補正予算で平成28年度に繰り越す事業費が昨年度よりも4億6800万円ほど多いため、実質的予算規模は膨らんでいます。

補正予算の審査については3つの常任委員会に分割して付託され、平成28年度一般会計と特別会計予算の承認については議員全員で構成する予算審査特別委員会にて、5日間にわたる審査を行いました。その中で公共施設の建替え順位や給食施設の建設に関して審査最終日に再度市長、副市長ならびに担当部長に出席を求めて補足説明を受けるなど慎重審議を行った結果、議案は全て最終日に全員賛成で可決されました。

予算審査特別委員会で課題があると考えられた部分については委員間で討議した概要と、執行部の説明を受けたものについてあわせてご報告致します。

## 公共施設等の整備

### 【委員間討議】

新体育館建設基本計画策定事業、632万9千円については検討するための経費で実際には建設はまだ先になるとの事でした。今年度には公共施設等総合管理計画が策定されるため、その後に検討すればよく、平成28年度予算に計上する必要性の是非について意見がありました。また庁内検討委員会での検討内容や、平成26年3月議会において提出した公共施設建設についての意見書を踏まえて、財政的な検討はなされたのか、などの意見も出されました。あわせて、自校式給食施設が未建設の小学校については早期に建設すべきとの意見がありました。

### 【執行部の説明】

庁内検討による「たたき台」をもとに、外部の有識者等の意見を受けて慎重に審議を行い、議会からの意見書を踏まえた「最善の方法」で「体育館建設」を推進します。また小学校の自校式給食施設もできるだけ早期の建設に向けて進めるとともに、大型の公共施設建設に対しては「将来的な財政負担」を念頭に置いて中期的財政計画に基づいた市政運営に努め、計画的な財政運営を図っていきます。

## 商業・観光 活性化計画



### 【委員間討議】

商業活性化計画策定業務が予算化されていますが、平成13年にできた前回計画につい

ては計画の進捗管理責任の所在が明確ではなかった点もあると考えられます。そのため、今回の計画策定事業については前回の活性化計画構想を総括した上で実施する事が必要ではないかとの意見があり、関係部長へ正副委員長から申し入れる事としました。



▲小郡市観光大使  
恋愛成就キャラクタ  
オリリン・ヒコリン

また観光推進事業については今年度に観光協会が法人化され活発な動きがスタートしている事は評価できるとの意見でありました。一方、本予算でいくつかの個別事業が予算化される中、全体を包括する「観光振興計画」を考えていくべきではないかとの意見が出されました。この点についても関係部長へ正副委員長から要望として申し入れる事としました。

# 水路の整備

## 【委員間討議】

水路の整備については関係する農業振興課、生活環境課、下水道課の間で対応がたらい回しとなり、進んでいない状況もあるとの指摘がありました。個別具体的な箇所においては、複数の部署にまたがる事例もあり、部署間協議に手間取る事などから地元の要望とニュアンスが違った対応になる事もあるのではないかと意見もありました。この問題は予算審査以外の場でも議会として引き続き研究と検討を行うっていく事となりました。

# 下水道区域外の浄化槽補助

## 【委員間討議】

下水道本線につなげない浄化槽区域において合併浄化槽設置補助金を1基あたり30万円増加する予算案に対して、浄化槽区域は市全域にわたるのか、指定された地域では本

線接続は将来もできないのか、また方針の変更でもあるので市民への周知が必要ではないかとの意見が出ました。



## 【執行部の説明】

平成26年度の1月に持続的な汚水処理構想の見直しと財政状況を考慮し小郡では下水道と浄化槽の区分けを見直すよう国から通達が来ています。それに基づいて小郡市全域の計画を見直しました。

三国方面は既に概ね下水道整備が終わりでしたが、下水道区域ではないところにお住まいの方についても補助金の上乗せを行う考えです。また、現段階で下水道区域に指定されていない地域でも将来的に

軒数がある程度固まって建ったという場合など全体計画の見直しの可能性はあります。

# 公園施設 長寿命化

## 【委員間討議】

公園施設長寿命化計画策定委託料の1450万円の予算案について、国土交通省の方針により市内39か所の都市公園が対象との事ですが、長寿命化の内容や予算積算根拠が分かりにくいとの意見がありました。

また公園台帳のデータを活用すれば内部調査でも可能ではないかとの意見もありました。

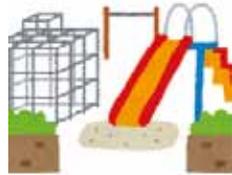
## 【執行部の説明】

コンサルタントへの委託内容は、施設調査となりますが、各公園のプランコ・街灯の数など具体的な数量調査です。

その後、調査した施設について予防保全型管理を行う施設と事後型施設の2つに分けます。予防保全型管理を行

う施設とは修繕等を行いつながら施設の寿命を延命しながら管理していく施設で、事後型施設とは様子を見ながら必要に応じて更新を行う施設です。また施設の健全度調査は専門の技師により行います。

市にある公園台帳が全く使えないという訳ではなく、ある程度公園台帳の情報がコンサルタント委託業務にも使えるため、委託費用が少なくなっています。



# 協働のまちづくり 費用について

## 【委員間討議】

区長報酬と協働のまちづくり事業との関係ですが、区長報酬は、平成24年度は641万5千円で、当時はまちづくり事業予算がありませんでした。平成28年度予算は、区

長報酬関係が、6587万8千円で、協働のまちづくり推進事業に3088万4千円となっており総額は増えていきます。昨年の市長説明では平成29年度のまちづくり形成期に条例制定とあわせ区長への委嘱事務内容と区長給の見直しもするとの説明でした。しかし、審査の中で具体的なまちづくりの方向性が明確になっていないとの議論がありました。そのため予算としては承認するものの、今後のまちづくりの進め方などについては再度説明を求める機会を持つ事となりました。





# 議員研修

## 小都市西鉄沿線の土地利用の現状について

都市経済常任委員会の企画で平成28年2月15日(月)に西日本鉄道株式会社まちづくり・交通企画部まちづくり担当課長 頓田正氏をお招きして標記テーマでお話を伺いました。

頓田氏は持続可能な沿線のまちづくりを進めるにあたり、行政と地域との協働を進めながら実施する基本的考え方について次の様に述べられました。

小都市だけでなく西鉄沿線周辺全体にわたる人口予測、市街化調整区域などの土地利用環境等の十分な調査に基づいて、大牟田線の活性化を進めるために必要な「住み続けてもらおうまち、訪れたいくなるまちづくり」を目指している事、その解決策として「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を実現したいとの事でした。

本市としても「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けた取り組みについて情報収集の必要もあると感じました。

あわせて本市北部地区は、ベッドタウンとして十分な利便性を備えているため今後も

企業としての周辺住宅開発の方向性、開発意欲を感じる事ができましたが、南部地区はまだ市街化調整区域の広がり、ショッピング環境など利便性に課題がある事から、開発意欲に結びつきにくい状況と感じました。しかし、福岡市、久留米市への交通便利性と自然環境に恵まれた本市としては、幅広い角度から魅力をPRし、様々な事業者の方々の協働を進めて「住み続けてもらおうまち、訪れたいくなるまちづくり」開発につなげなくてはならないと感じました。



### 小都市議会会議録の 閲覧ができます。

小都市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。

なお、平成28年3月の市議会会議録は、平成28年5月下旬頃よりご覧いただける予定です。

### 小都市議会の 本会議・常任委員会の インターネット中継が ご覧いただけます。

小都市のホームページから、本会議(過去5年間)及び常任委員会の生中継・録画中継がご覧いただけます。

※大変ご迷惑をおかけいたしますがシステムの関係上、常任委員会の録画中継につきまして、暫くの間、開催から30日間の閲覧となります。

### 小都市議会を 傍聴しませんか

本会議や委員会を傍聴して一緒に市政を考えましょう。

◆小都市議会では、本会議の他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を公開しています。

◆定例会では、市政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を市長等にただず議員の質問(一般質問)も行われます。

◆本会議は、定期的に開かれる定例会(3、6、9、12月)と必要に応じて開かれる臨時会があります。

◆次の開催については、12ページをご参照ください。  
◆傍聴を希望される方については、当日、市役所本館3階の議会事務局にお越しいただき、受付をお願いします。